

【新しいつながりの芽生え】

取組む大人たちにも、新しく人間関係が築かれ笑顔があふれています。皆が、楽しい時間を過ごしているのです。明石高校JRC部員も含め、多世代で仲間意識を育てています。

【物より思い出】

かつて、自動車のCMで使われたキャッチコピーで当時も心に残りました。物はいつかはなくなってしまいますが、思い出は次の世代へと贈ることが出来ます。物よりも、大切に育てられた経験を贈りたいと共感しました。

今、地域の共同体である私達ボランティアスタッフが、少しずつ子どもさんたちをおもてなしします。私達の営みが、子どもさんたちの豊かな思い出の一つとなれば幸いです。

お世話をする機会をいただき感謝しております。

【結びに】

子ども食堂「まんまる」のホームページには人丸小学校地区社会福祉協議会の記載があります。地域のつながりや事業についても、ぜひご覧下さい。

<https://sites.google.com/view/hitomarukko-restaurant-manmaru/>



「東野町 みどり会」 解散のご挨拶！！

東野町みどり会会長 手塚 佳世子

65歳以上のお一人暮らしの方の閉じこもり防止のため、明石市社会福祉協議会の要請で、1990年11月に「東野町みどり会」を発足して31年になります。今年度、会の皆さんと話し合った結果、2022年3月をもって解散することとなりました。

発足当初は、毎月1回の保健所からの給食弁当の配付や自治会館での年4回の集いの会で手づくりの食事会を行いました。また、1995年の阪神淡路大震災の時は、避難所である大蔵中学校でお掃除や炊き出しのお手伝いをしました。

その後、2002年からはミニサロン会に衣替えし、地域のボランティアの方にお話し、民謡踊り、フラダンス、器楽演奏、大正琴などのアトラクションや輪投げ、ビンゴゲーム、フラワーアレンジメントなどで楽しんで頂きました。更には、在宅介護支援センターや居宅介護支援事業所「かけはし」さんをお願いしての勉強会も開催しました。

また、地域交流として、明南保育所のお花見会、運動会、人丸幼稚園の七夕祭り、節分の豆まきなどにも参加・お手伝いをしてきました。

残念ながらこの2年間は新型コロナウイルス感染症のため、活動を縮小せざるを得ない状態でした。

これまで、ご協力いただきました明石市社会福祉協議会、東野町自治会を始めとする皆さま方、みどり会にご参加いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。



長い間
ありがとうございました

⚠️ 特殊詐欺に注意

家族の絆、地域の絆で詐欺被害防止！

【事例1】

市役所を名乗る電話があり、還付金や保険料の返金がある。口座のある銀行名を聞かれ答えた。その後、その銀行名で電話があり、新型コロナの影響で高齢者は銀行に入れないので、「コンビニのATMに行くように」と言われた。



【事例2】

同じく市役所を名乗る電話で、「新型コロナの影響で返金期限が早まり、手続きは今日までだ。携帯電話と通帳を持って銀行のATMへ行き、指定の電話番号に電話し、指示どおりに操作するように」と言われた。



【事例3】

全国銀行協会を名乗るものから「あなた名義のクレジットカードが利用された」「不正取引分の金額を返還する手続きをする」などの電話があり、「今からあなたの自宅に職員を向かわせるので、封筒に入れたキャッシュカードを自宅ポストに入れておいてください」と指示された。キャッシュカードを自宅ポストに入れておいたところ、いつの間にか持ち去られていた。

ひとこと助言



- 役所や銀行の職員がATMの操作をするように連絡することは絶対にありません。
- ATMに行くようにとの電話があったら詐欺です相手にせずすぐに電話を切ってください。
- 留守番電話機能があれば、常時留守番電話設定をしておき、知らない人からの電話には出ないようにしましょう。
- 子どもや孫を名乗った電話の場合には、いったん切って直接、電話を掛け直しましょう。
- 不審な電話があったら、いったん切って、すぐに知人や最寄りの警察や市の消費者生活センター等に相談してください。
- 警察相談専用電話「#9110」
- 消費者ホットライン「188」